

市民の声 一覧 (令和元年度分)

※市からの回答は市民の声への回答時点の内容となっております。

No.	1-①	提出月日	5月20日
内容			
①自治の日について			
<p>防災の観点からもコミュニティは大切ですが、現状では希薄になりつつあるという課題があると思います。自治基本条例も定めている潟上市ですから、是非とも自治会やコミュニティを大切に考える「潟上市自治の日(仮称)」を制定してはどうでしょう。</p> <p>年に一度の「潟上市自治の日(仮称)」を制定しましたら、その前後で広報等を通じて自治検定を掲載して、自治の大切さや自分たちの自治会等を知るきっかけにつなげていくこともできると思います。</p> <p>また、小中学生に検定(といってもごく簡単に学年に応じて自分の家の自治会について尋ねるとかその程度でよいと思います)を宿題にすると家庭で話題になって、大人も自治への関心が高まるというような活用も考えられるかと思えます。</p> <p>ぜひ、「潟上市自治の日(仮称)」制定をご検討いただきたいです。</p>			
市からの回答			
<p>ご提案にあるように自治会やコミュニティを大切に考えることは重要であり、その中核をなす「自治会活動」は人口減少が加速する今後、ますます重要となってくるものと考えております。自治会とは、地縁によるコミュニティ団体であり、「地域のことは地域で責任を持って行う」という自己決定・自己責任を実践する団体であり、その会活動はおおむね次のようなことを担っております。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 親睦機能(住民相互の連絡、スポーツ、レクリエーション、文化祭、祭礼、慶弔など)・ 共同防衛機能(防災、防火、防犯、交通安全など)・ 環境整備機能(ごみ集積所・集会所管理、地区内公園や側溝清掃など)・ 行政補助機能(広報など各種行政連絡の伝達、募金など)・ 団体要望機能(行政への要望など)・ 地域の調整・代表機能(地域内の意見調整、地域外交渉の窓口など)・ 生涯学習機能(地域活動の学習会、趣味の講座など)・ 地域福祉機能(独居高齢者見守りなど)・ 地域文化機能(地域文化の保存など) <p>これらの活動をそれぞれの地域の実態に合わせ実施していますが、現在潟上市内の自治会では、自分たちのライフスタイルを優先したり、地域とのかかわりが煩わしいなどの理由で自治会活動に参加しないケースが多くなっていることが大きな課題となっております。また、自治会の役員についても負担が大きすぎるなどの理由でなり手がいないなど、自治会組織を支えるうえで深刻な問題となっております。自治会やコミュニティ活動を充実させるためにその活動の中心となる「リーダー」を育成することが急務であると考えております。</p> <p>平成24年に制定した潟上市自治基本条例は、市民からなる「自治基本条例策定委員会」や「100人委員会」など約1年3ヵ月の協議検討を経て、市議会で全会一致で可決された、多くの市民の想いがこもった条例であり、その趣旨は「市民参画」と「協働」のまちづくりによる市民自治をより一層推進していこうということであり、市民参画については自己決定・自己責任がその内容でありまして、今まで、市議会や市役所に任せてきた観客民主主義から決別しようという姿勢にもなっております。協働についても市民も皆さんに行政の補完を強いるという解釈ではなく、今までの「自助」「共助」「公助」の在り方を見直して、新しい公共なり公共性の在り方を追求していこう、その結果として一層の豊かさにつなげていこうという発想であります。</p> <p>現在、市では潟上市自治基本条例をより一層市民の皆さんに周知し、まちづくりへの積極的な市民参画につなげるため、早い時期から自治に興味をもってもらえるよう、中学3年生の社会科の地方自治に関する授業の際、潟上市のまちづくりのルールを定めた自治基本条例の出前授業を実施しており、今年度は小学校にも拡充して実施する予定となっております。</p> <p>自治の日(仮称)についてはこの自治基本条例の制定日(平成24年6月12日)や施行日(平成25年1月1日)とすることも考えられますが、自治の日を制定することにより何かしらの行事(イベント)や啓発行事を実施する必要が生ずるものと考えております。しかし、自治基本条例の趣旨からも、例えば自治会検定といった「自治」に関する行事等は市民の皆さんが中心となって、自発的におこなわれるのが理想であると考えております。このような考えから、これまで自治基本条例施行5周年記念事業以外に自治に関する市主催の行事は実施しておりません。</p> <p>市として、将来的な「自治の日」の制定までを否定するものではありませんが、当面は自治会長会議などの場や、小中学校の社会科・公民の授業にあわせた自治基本条例の出前授業を通じて、地域のリーダー的人材や未来を担う子どもたちをメインターゲットに、自治基本条例の趣旨を浸透させていくことが重要であると考えております。</p> <p>以上のことから、ご提案の自治の日(仮称)の制定は現在は考えておりませんが、これまで以上に市民の皆さんの活動は市としても応援してまいりますので、ご理解のほどよろしく願いたします。</p>			

No.	1-②	提出月日	5月20日
<p>内容</p> <p>②病床保育について</p> <p>子育て世代が最も困っていることの1つとして子どもが病気になったときに預ける場所がないことがあります。病床保育の場の実現を早急にお願いします。</p> <p>希望としては、せつかく制度化された認定こども園なので、できればそこに看護師を常駐させて、病床保育をしてほしいです。働く世代が安心安定して働けるように、病床保育の検討をお願いします。</p> <p>現状では子どもが37.3℃でお迎えを要求されても、なかなか対応できない場面があります。祖父母にお願いできる家庭はそれでもまだよいのですが、多くの家庭では(特に母親が)仕事も頻繁に休まなくてはならず、安定労働、安定賃金の確保という点ではなかなか難しい状況です。</p> <p>通常の保育園、幼稚園にできるだけ近いところ(同じ場所が理想)に、病床保育の場を設置して頂けると大変助かる家庭が多いと思います。</p> <p>共働き、核家族世帯へのケアという観点からも検討をお願いします。</p>			
<p>市からの回答</p> <p>潟上市内の就学前施設では、保育中に体調不良になった園児がいた場合には、安静に保てるように保育園内の保健室等で別室保育を実施しています。ノロウイルスによる嘔吐やインフルエンザによる高熱などで園児の症状が悪化した場合は、病院への早急な受診を保護者をお願いしています。就学前施設は、乳幼児が長時間密接に関わり合う集団生活の場であるため、園内感染の拡大に至らないように日頃から園内の衛生環境を徹底し、各家庭においても協力をお願いしています。</p> <p>そのような中で、病児保育事業は市の子育て支援に関わる課題の一つとして捉えておりますが、認定こども園の運営において感染症等病気の種類が異なる複数の乳幼児を同時に保育することになるため、保育室に巡回できる医師と保育のための看護師及び保育士の確保が必要となります。</p> <p>市では、病児保育の設置は子育て世代への重要な支援事業と位置付けており、これまでも潟上市子ども子育て支援計画に基づき、幼保連携型認定こども園整備事業に取り組む中で検討してきましたが、市直営での設置には課題が多々あり、実現に至っておりません。</p> <p>今後も引き続き、子ども・子育て支援事業を推進するために、市内全域での就学前施設の現状を分析し、医療機関との連携や専門職員の確保、新たな施設整備のための財政負担等について検討を重ねてまいります。</p>			
No.	1-③	提出月日	5月20日
<p>内容</p> <p>③八郎湖について</p> <p>八郎湖周辺には今も美しい景色が見られる場所も多数あります。それらを観光スポットとして整備したり、カヌーできるような場を作ったりして、八郎湖を核にした観光を考えてみてはどうでしょう。</p> <p>次世代を担う子どもたちのふるさと学習の場として、また自性院さんで刊行した「潟語り」があるように、大人も歴史的な面からも学ぶべきことの多い八郎湖です。ぜひ、八郎湖を核とした観光と八郎湖の魅力のPRに今まで以上に力を入れていただきたいと思います。</p> <p>そして、潟上市から県や周辺町村に働きかけて、環八郎湖フェスを開催できれば観光の大きな目玉になると考えられます。八郎湖を核とした観光の整備をご検討ください。</p>			
<p>市からの回答</p> <p>第2次潟上市総合計画における観光の振興として、地域活力を生み出すため、既存観光施設などの充実と新たな観光資源の発掘を進めるとしてしています。本市の八郎湖周辺の観光振興の取り組みとしては、潟上市観光協会が主として企画運営する「潟上観光フォトコンテスト」事業を行っております。これは、八郎湖周辺に限らず、そこに暮らす人・風景・生活・文化・行事などの「潟上の魅力」を写真にて市内道の駅などで展示し、広く発信し観光促進を図っているものです。</p> <p>ご意見の「観光スポットとして整備してはどうか」については、アオコによる水質の問題などにより、ウォータースポーツの場としての観光効果は期待できないと考えています。</p> <p>また、自然豊かな風景を楽しむという観点からは、市内随一の夕日の景勝地である飯田川地区「ふたあらの丘」からの八郎湖を広く望めるよう整備しており、丘からは、四季折々の八郎湖の姿がみられ、写真愛好家が集う風光明媚なスポットとなっております。過去には、大久保駅や八郎湖周辺を舞台にしたドラマの撮影が行われたこともあり、優れた景観等を生かした、観光地づくりのきっかけにつなげていきたいと考えています。</p> <p>ふるさと学習の場としては、八郎潟・八郎湖学研究会が設立した特定非営利活動法人「はちろうプロジェクト」による、八郎湖流域をフィールドに各種体験(河川の水質調査、ヨシ原の復活、田んぼの生きもの調査、馬場目川のカヌー体験等)を実施しており、県事業(環八郎湖・水の郷創出プロジェクト助成事業)により、八郎湖などの広域的に環境教育面において見識を広める活動を実施しています。</p> <p>環八郎湖フェスを開催してはどうかにつきましては、約25年前に南秋田郡管内の旧8町村協同による「レイクフロントミニアキタ」が町村持ち回りで開催されておりました。これは、南秋田郡の文化・風土が一堂に介し8町村の物産振興や伝統芸能の継承を目的に開催されたもので、広域的なイベントとして県内に広く周知され南秋田郡の魅力がPRされておりました。今後、観光関連会議などの機会にこのことについて市民団体からご意見があった旨、述べさせていただきます。</p>			

No.	1-④	提出月日	5月20日
<p>内容</p> <p>④市民団体への支援について</p> <p>潟上市にはいいじゃんかたがみ会議のほかにも、子育てネットワーク協議会や国際交流協会、ハートフル実行委員会など、素晴らしい活動をしている団体が多数あります。</p> <p>しかし、せっかく素晴らしい活動をしている市民には見えてこない部分が多いです。各団体のPR不足もあるかもしれませんが、年に1回でもいいので各団体について市の広報を活用してのPRや、市役所の呼びかけで各団体の連絡・連携会議を開催するなど何らかの形で各団体の後押しをしていただけないのでしょうか。特にPR活動は、団体に所属している市民はもちろんですが、所属していない市民が市民活動に興味関心をもつためにも必要な取り組みかと思しますので検討をお願いします。</p>			
<p>市からの回答</p> <p>市内の各団体のPR活動に対するご提案ではありますが、そのひとつのツールとして広報かたがみや市ホームページがあります。広報かたがみについては、毎月32ページ(平均)と限られた予算の中で市政全般にわたる情報を市民のみなさんへお知らせしており、その内容は多岐にわたっています。頑張っている市民の方に対しては、その活動に焦点をあてた「注目の人」のコーナーや各種団体で行ってイベント結果など可能な限り掲載しております。また、広報かたがみでは、広報手段を持たない、団体・サークル等(主に市内在住・在勤・在学者で構成)の催しや活動などを「くらしの掲示板」のコーナーで紹介しています。</p> <p>行政が発行する広報紙は原則的にすべての市民・団体に対して公平・平等であることが前提にあり、特定の団体を特別扱いすることはできない状況にあります。そのため、掲載にあたっては公共性ととも主権者と参加者とのトラブル防止のため、掲載基準を設けており、掲載できるもの・できないものは次のとおりとなっています。</p> <p>※参考: 広報かたがみ掲載基準(抜粋)</p> <p>◎掲載できるもの</p> <p>①市内全域を対象とし、どなたでも参加できるものを原則とします。</p> <p>②掲載する記事の優先順位は次のとおりとし、紙面が確保できない場合は上位の記事を優先する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市が共催する事業などのお知らせ(市が企画や運営に参加し、経費の一部負担や責任の一部を分担しているものに限り) ・市が後援する市内の団体やサークルなどのお知らせ ・市の外郭団体、関連団体のお知らせ(市が継続的に人的・財政的な支援をしている法人に限る) ・国・県など行政機関からのお知らせ ・市が後援する市外の団体やサークルなどのお知らせ ・その他、公益性が高く、市が掲載することを適当と認めた記事 <p>・掲載する団体・サークルは、継続的に活動しているものとします。また、必要に応じて団体・サークルの活動内容が分かる書類を提出していただくことがあります。</p> <p>◎掲載できないもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人的な活動・宣伝などにあたるものは掲載できません。 ・団体・サークルなどの活動内容が営利目的や営業行為につながるもの、また政治・宗教活動を目的としたもの(それらを連想されるものを含む)は掲載できません。 ・その他、市において適当でないと判断した場合は掲載できません。 <p>広報では掲載できるスペースが限られていることから、現在、SNSの活用を検討しております。市民代表12名で組織している「まちづくり市民会議」から提案され、導入を検討しているライン@(アット)など、どの媒体を活用したほうがより効果的な情報発信ができるか調査・検討しているところであり、準備が出来次第開設する予定となっております。</p> <p>民間団体である「カタガミジャー復活プロジェクト」や「草木谷を守る会」などが、市内のイベントや観光情報、団体の活動内容をフェイスブックなどで情報発信しております。各団体が様々な手法によりPRすることが第一義的ではありますが、これらとリンクできるようなシステムを構築できないか検討している状況にあります。</p> <p>もうひとつのご提案は「市役所が呼びかけて各団体の連絡・連携会議を開催するなど何らかの形で各団体の後押しをしてほしい」ということであります。</p> <p>現在、潟上市内の各種団体は補助金を交付している団体で約80団体、それ以外の団体を含めると正確な数を把握できていない状況にあります。様々な趣旨・目的が異なる団体が一同に会した連絡会議を開催するよりも、例えば文化団体や市民活動など同じような目的をもった団体の連絡会議がより有効性があると思えます。実施可能かどうか、実施することでどのような成果や各種団体にメリットがあるのかどうかを含め、検討させていただきたいと思えます。</p>			

No.	2	提出月日	6月24日
<p>内容</p> <p>子育て支援センターに子供を連れて遊びに行くと興味本位で質問責めをしてくるのをやめてほしい。 子供と楽しく遊んでいるところに職員が来て、私の年齢や夫の年齢、出身中学や高校、実家の場所、だれだれさんのことは知っているか？といったどうでもいいことをひたすら聞いてくる。最初だけでなく、行くたびに色々な質問責めにあうのがとてもつらい。まわりに人がいても平気でプライベートなことを聞いてくるので困る。 この職員はなんのためにいるのか。子供と遊んでくれるわけでもないし、それならせめて子供と遊ぶのを邪魔しないでほしい。 子供は楽しそうに遊んでいるので連れて行ってあげたいと思うが、質問責めにあうのが嫌なのでなかなか行けない。 また、職員のカウンターには常に目隠しがあるのは何故か。これも不可解。うわさ好きの職員がカウンターの中でスマホをいじってゲームをして、暇になったら出てきて興味本位で質問責めというように見える。 職員の教育、全体的な改善が必要だと思う。</p> <hr/> <p>市からの回答</p> <p>この度、潟上市昭和子育て支援センターの職員の対応において、ご不快な気持ちにさせていただきましたことに対し、深くお詫び申し上げます。 ご利用された昭和子育て支援センターは、「子育て親子の交流の場の提供と交流の促進」、「子育て等に関する相談、援助」、「地域の子育て関連情報の提供」、「子育て及び子育て支援に関する講習等」を行うための地域子育て支援拠点事業とファミリーサポートセンターを運営しております。そのため、日ごろから利用される方同士が関わりをもち、人と人がつながるような支援体制を基本として従事しているところであります。 子育て支援センターを利用する方の多くは、職員との会話を求めたり、悩みをうちあげたり、子育て仲間が欲しかったりなど家族以外の方とのコミュニケーションを求めて来園されます。そのため、職員は、利用者同士がつながるきっかけをもちやすくするため、何気ない会話の中から共通点を探り、会話のテーマを探して関わります。初めて利用される方や他県から転入してきた方には、より声をかけて、会話の内容から他の支援センターの紹介や様々な行事を紹介するなど、孤立してしまわないような関わりを心がけています。 ただ、お子さんとゆっくり遊ぶ時間を大切にしたいという真意を職員が読み取れずに話しかけてしまい、ご不快を感じられるような対応をしてしまったことは誠に申し訳なく、重ねてお詫びを申し上げます。 また、カウンター上のパーティションも不自然と思われるような設置の仕方になってしまい申し訳ありません。事務室のパソコンが個人情報扱っていることから、やむを得ず設置しておりますことをご理解願います。 今回、あなた様からご意見をいただいたことで、今後、わたくしども潟上市が市民からの信頼を損なうことの無いように職員の接遇のあり方を見直すきっかけとなる貴重なご助言を賜りました。市民の皆様的心情に寄り添った接遇や対応に一層努めるよう、管理職が改めて指導を行ったところでございます。 今後とも、本市の子育て支援事業に対するご理解とご協力をお願い申し上げます、回答といたします。</p>			

No.	3-①	提出月日	8月26日
<p>内容</p> <p>①各種税金支払いを、クレジットカード(審査系、銀行デビットカード系、プリペイド系全て同一なので問わず)対応</p> <hr/> <p>市からの回答</p> <p>潟上市では、クレジット収納に限らず、コンビニ収納、マルチペイメント収納など、収納チャンネルの多様化は市民の利便性の向上につながることから将来的には必要になると認識しております。 しかし、導入するには、高額な利用手数料、システム改修費などが必要となり、それらは最終的にはすべての納税者、市民の負担につながることから現段階では具体的な導入は計画しておりません。</p> <p>※潟上市では、口座振替での納税を推進しております。 一度手続きをして頂ければ納期毎に、あなたの指定口座より引き落としされます。 手続きは、潟上市に支店等がある金融機関(秋田銀行・北都銀行・秋田信用金庫・秋田なまはげ農協・あきた湖東農協・ゆうちょ銀行)でできます。手続きの際は、通帳の届出印が必要です。</p>			

No.	3-②	提出月日	8月26日
<p>内容</p> <p>②セブンイレブン他のコンビニでマイナンバーを使用した本人確認書類発行対応。</p>			
<p>市からの回答</p> <p>住民票等証明書のコンビニ交付について、市民の利便性の向上につながることは認識しておりますが、導入には高額な利用手数料及びシステム改修費などが必要となりますことから、現時点ではコンビニ交付の導入は計画しておりません。</p> <p>潟上市では、市内4出張所及び本庁舎で住民票等の交付を行っております。また水曜日には窓口を延長し交付事務を行っておりますので、ご理解をお願いいたします。</p>			
No.	3-③	提出月日	8月26日
<p>内容</p> <p>③個人的に数年前から携帯電話番号はなく050番号の通話アプリ使用していましたが、LINE 通話、Facebook messenger のみが連絡先になりました、(格安スマホ、SMS付データ専用SIM契約により)潟上市のLINEを先日登録しましたが、役場の連絡方法にもLINEトーク、通話などのメッセージ、通話アプリ使えるようにしてください。</p>			
<p>市からの回答</p> <p>潟上市役所への連絡方法媒体としましては、電話か電子メールでお願いしております。</p> <p>昨今、さまざまな通信技術が開発され、LINE等からの外部への通話もできるようですが、潟上市役所の連絡受信体制としては現状では、電話での通話かFAX、電子メールとなっておりますので、ご理解をお願いします。</p>			
No.	3-④	提出月日	8月26日
<p>内容</p> <p>④潟上市天王地区、蒲沼や天王グリーンランドまでの空き家や放置された田畑、長年放置されている土地をセブンイレブン数件誘致してください。</p>			
<p>市からの回答</p> <p>株式会社セブン-イレブン・ジャパン社の店舗戦略によるもののため、市は介入出来ませんが、空き地等の問い合わせがあった際には、真摯に対応していきたいと考えております。</p>			
No.	3-⑤	提出月日	8月26日
<p>内容</p> <p>⑤天王グリーンランド施設内の完全キャッシュレス化の支援してほしい</p>			
<p>市からの回答</p> <p>天王グリーンランドの運営は、指定管理者である「天王グリーンランド株式会社」が行っております。</p> <p>現在、天王グリーンランド株式会社では、キャッシュレス化についての話は無いようですが、今後、誘客、売上増等導入によるメリットがあるようであれば、指定管理者と協議してまいります。</p>			

No.	4-①	提出月日	10月8日
<p>内容</p> <p>防災無線について、戸を閉め切っていたり、天気が悪いときはほとんど聞き取ることができません。</p>			
<p>市からの回答</p> <p>本市では平成26年度から4年計画で防災行政無線のデジタル化更新工事を進めながら音質の改善、子局からの双方向通話(複信電話)機能など環境整備に取り組んでまいりました。</p> <p>ご質問の趣旨にあります、防災行政無線放送が聞き取れないことについては、市の初期対応として、放送が聞き取りにくい等の申し出を受けた場合は、防災行政無線の音量調節や、スピーカーの方向を調整するなどの対応を行っております。しかしながら天候等の影響や、スピーカーの設置場所によっては聞き取れない場合もあることから「防災行政無線テレホンサービス」を開始しております。</p> <p>このサービスは、☎0120-876-266へダイヤルしていただく防災行政無線で放送した内容を電話(通話無料)で聞くことができるサービスですので、是非ご利用ください。</p> <p>加えて、携帯電話をお持ちの方へ「潟上市防災行政情報メール配信」の登録を推奨しているところです。本メール配信サービスに登録(無料)していただきますとお手持ちの携帯電話に気象情報、災害情報、避難情報等が配信されるサービスです。市民のみなさんにおかれましては、防災対策の一環として是非ともメール配信サービスへ登録いただくようお願い申し上げます。</p>			
No.	4-②	提出月日	10月8日
<p>内容</p> <p>テレビで地域防災ラジオというものの放送をしていました。ポケベルの電波を防災ラジオに活用しており、ある市町村では全市民にそれを利用させておりました。地震などで電力が活用できない場合も使えるし、費用もかさむ話ですが、高齢の一人暮らしの人とか障がい者の方には良いのかと思います。ある程度自己負担があったとしても、このようなものが自宅にあったら安心かと思います。</p>			
<p>市からの回答</p> <p>ご提言にあります、「地域防災ラジオ」「ポケベルの電波を活用した防災ラジオ」の導入検討については、秋田県内において導入している自治体を調査した結果、防災行政無線、防災ラジオ、登録制メールの中で優先順位を定め、主とする情報伝達手段を決定しているようです。その背景としては地理的条件、通信基地局の整備やラジオ導入費用を含め様々な事情があったものと推察されます。</p> <p>本市としても、平成26年から29年度の4年間で防災行政無線のデジタル化更新、幼稚園、保育園、小中学校、公共施設、老人福祉施設内への戸別受信機の設置を進めてまいりました。これらのことからご提言にあります「防災ラジオ」等の新規導入については、次期防災行政無線の更新時期にあわせて検討を進めさせていただきますので、ご理解くださるようお願い申し上げます。</p> <p>防災ラジオについては、今後も他自治体の動向を注視しながら、調査・研究を進めたいと考えております。</p>			

No.	5	提出月日	10月16日
<p>内容</p> <p>防災対策</p> <p>津波ハザードマップは公開されていますが、洪水ハザードマップはないのでしょうか。策定されているとすれば、公開されていますか？策定されていないとすれば、作成・公開の予定はありますか？災害に対する意識が高まるなか、住居の位置などを決める際の目安のひとつとなり、きちんと作成・公開されることは、市のアピールポイントともなると思います。現状、潟上市ではどのように取り組んでいるのでしょうか。</p>			
<p>市からの回答</p> <p>本市では、これまで新たな秋田県津波浸水想定に基づき、津波ハザードマップを作成し全戸配布したほか、土砂災害ハザードマップを作成し、秋田県と合同地区説明会や市民防災研修会の開催により防災・減災対策に係る啓蒙活動を実施しております。</p> <p>ご質問の趣旨にあります「洪水ハザードマップ」の作成・公開については、市内の水系として、秋田県の管理河川(秋田地域二級河川)となっている馬踏川及び豊川、潟上市が所管(準用河川)の妹川ほか3河川がありますが、「洪水ハザードマップ」については現在のところ未策定となっております。しかしながら、昨年5月の記録的な大雨による飯田川下虻川地区の浸水被害をうけて、昨年度市独自で豊川へ流下している排水路について調査を行い、豊川から排水路への逆流防止のためフラップ式ゲートを5箇所設置するとともに、排水路1箇所の改修工事を実施しております。また、馬踏川及び準用河川についても河川へ流下している排水路の調査を実施したところであり、被害を最小限に抑えるため引き続き減災に努めてまいります。</p> <p>ご提言にありますように、災害に対する意識が高まるなか、まずは自らが住まいの地域に起こり得る災害を知り地域の災害特性、災害発生時の状況をイメージし、どこに避難するのか最寄りの避難場所を把握するなどの取り組みが大切と感じていることから、今後、「洪水ハザードマップ」のイメージとして過去に市内において浸水の影響があった場所などをまとめた「箇所マップ」の作成について調査、検討を進めてまいりたいと考えております。</p>			

No.	6	提出月日	1月10日
<p>内容</p> <p>子どもの活躍</p> <p>潟上市活性化選手権をやってみてはどうだろうか。今、潟上の子どもたちが学べる場がたくさんある。例えば、リキノスケ未来塾。リキノスケ未来塾では、身近なもの、当たり前にあるものをお室に変える活動をしている。その活動を通して気づいたことは提言書として潟上市に毎年提案している。ただ紙に書いた物を渡すだけだともったいないと思う。子どもには、将来的にプレゼン力が必要になる。学べる場を増やすことも大事だが、発表できる場を増やすのも大切ではないだろうか。子どもは、ユニークな考えを持っている。潟上市に在住しているしていない行政区関係なく周りの人から見た潟上市を、子どものユニークな考えを生かし潟上市を活性化してみてもどうだろうか。</p>			
<p>市からの回答</p> <p>現在本市の人口は、追分地区の開発が進み転入者も多いのですが、全体としては平成17年調査の総人口35,814人をピークに減少に転じております。人口減少がこのまま続いた際、地域の暮らし、経済、まちづくりなどへの影響は大きく、潟上市においても平成28年に「潟上市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、人口減少や地域経済縮小の克服を目指しております。その中でも地域の活性化は、非常に重要な役割を担っていると考えています。</p> <p>さて、ご存じと思いますが、今年度、提言にある活性化選手権と同様な趣旨の、秋田魁新報主催で「秋田活性化中学生選手権」が開催され、潟上市からは天王南中学校が出場いたしました。市の主催ではありませんが、将来的にはこのような事業と上手く連携し、潟上市内でも行えれば良いのではないかと考えます。</p> <p>学校との関係や対象者(年齢や市内・市外など)をどこまでとするかなど、検討する課題はありますが、人口減少の対策として地域の活性化はなくてはならないものでありますので、提言にある活性化選手権も含めた地域活性化についての方策については今後も検討して参りたいと思います。</p> <p>今後も、様々な角度からのご提言をお待ちしております。</p>			

No.	7	提出月日	1月14日
内容			
<p>オーストラリア火災募金</p> <p>私は中学校2年生の時に潟上市のイベントでオーストラリアへ行き、英語やオーストラリアについて学んだことがあります。また高校2年生になった今年もオーストラリアへ留学してきました。そこでできた友達と今でも仲良しです。ですが、今現在オーストラリアでは大規模な火災が発生しています。友達も火事に追われたり、暑すぎると状況を教えてくださいました。</p> <p>そこでオーストラリアと関係をもつ潟上市で助けを必要としているオーストラリアへ募金活動を行ってほしいです。私ひとりの力ではどうしてもできません。例えば、各中学校へ募金活動をお願いしたり、潟上市内のお店に募金箱を設置するだけでも違うと思います。</p> <p>少しでもオーストラリアの人々や動物、環境を救えることを願い、潟上市役所さんに協力をお願いしたいです。</p>			
市からの回答			
<p>オーストラリアの火災への募金の呼びかけについて、ご提言ありがとうございます。</p> <p>この度のオーストラリアにおける大規模な火災については、報道によりますと、焼失面積は1,000 万ha以上におよび、また多数の死傷者や野生動物の犠牲も甚大になっているとのことであります。</p> <p>このような状況のオーストラリアについて、中学2年生にホームステイ事業を実施している本市でも憂慮しているところですが、</p> <p>しかし、市が主体となって募金を行うとなると公共性や公益性、募金にかかる活動が公務としてふさわしいかといった観点からの検討が必要になります。</p> <p>また、現在募金のオーストラリア側の受入先が、オーストラリアの赤十字など、オーストラリア国内に限られているようであり、オーストラリア大使館においても寄付を受け付けておらず、日本赤十字社の海外募金の対象ともなっておりません。また、寄付については、クレジット払いやドル建てでの支払いが主な手段となっている状況で、自治体として募金を集めた後の寄付方法について検討の余地があり、今現在、市で寄付の募集を考えておりません。</p> <p>ただし、今後日本国内において寄付を受け付ける状況が整った際に、市として直接的な募金活動を行う事は難しいかと思いますが、市広報へ募金について掲載するなどの方法について、検討できればと思います。</p> <p>今後も情報ありましたらご提供よろしく申し上げます。</p>			

No.	8	提出月日	1月17日
内容			
<p>海辺等のゴミ対策について</p> <p>出戸浜海岸あたりでプラスチックゴミを拾っています。他市では「ボランティア袋」というゴミ拾い用のゴミ袋があると聞いていますが、潟上市でも検討していただければと思います。ゴミ拾いは環境問題を考えたり取り組むための良い入口となると思います。</p>			
市からの回答			
<p>この度は、市に対するご意見をいただき衷心より感謝申し上げます。また、常日頃からボランティア活動としてごみを収集していただいておりますことに対し、重ねて御礼申し上げます。</p> <p>さて、海岸漂着ごみの現状は、国外や他県から漂着するものもありますが、県内の市街地の散乱ごみが道路側溝や河川を経由して海へ流出した後に、海岸へ漂着するものが多くあります。また、海洋プラスチックに関し、国際問題として取り上げられていることは承知しています。</p> <p>現在、県では、出戸浜を含む天王海岸を秋田県海岸漂着物等対策推進計画の重点区域と定め、海岸漂着ごみの収集を毎年3月と7月に実施し、年間50トン程度処理しているほか、夕日の松原クリーンアップの開催により市民と協働した清掃活動を実施しています。また、市では、毎年4月に全市クリーンアップを実施し、自治会単位で清掃を行っているほか、路上のポイ捨て、不法投棄物を4月から9月の期間、作業員が毎日収集しております。さらには、市が委嘱している環境巡視員の市民ボランティア69名が日々活動しています。</p> <p>環境巡視員の方々には、ごみの収集をする際に使用する袋を無料で提供しています。巡視員は公募となっておりますので、ご登録していただければ嬉しいです。</p> <p>この度、提案いただきました「ボランティア袋」に関して、今後の課題として、本市の一般廃棄物の収集ルールの中で、対応できるか検討してまいります。</p>			

No.	9	提出月日	3月2日
-----	---	------	------

内容

潟上市マイタウンバス

潟上マイタウンバスの走行位置が分かるようにしてもよいのではないだろうか。現状としてマイタウンバスに遅れがある際遅れていることが分からない状況となっているため。(秋田中央トランスポートのホームページにはマイタウンバスの運行情報が掲示してあるが更新されておらず。)走行位置が分かれば、運行情報が分かるだけでなくバスの乗り遅れ・駆け込み乗車が減らせバスの運転士の負担を抑え、また、利用者が使いやすくなると思えるバスになる。

走行位置が分かるようにするための機器には多額な費用がかかると思われるが、南秋広域マイタウンバスで利用している機器(アプリ)は「知らせるバス」というものを利用していると思われる。(根拠:「知らせてビューア」で南秋広域マイタウンバスの位置が分かるから)アプリで済ますことができるため費用を抑えられると思う。

市からの回答

御意見をいただきました件につきまして、潟上市の現状について回答いたします。

潟上市でも南秋地域広域マイタウンバスで利用しているシステムの導入について、国土交通省や秋田県等と情報を共有しながら、現在検討しているところであります。御提言のとおり、導入することによりスマートフォンユーザーなどの利便性が向上するものと考えております。また、このシステムは類似した機能を持つ他社の製品より安価で導入することができることも確認しております。

しかしながら、導入費や維持管理費、それに伴う効果や利用者がどの程度であるかが課題となっております。秋田県の公共交通を取り巻く環境は大変厳しくなっており、利用者は10年間で20%程度減少しております。また、マイタウンバスは主に民間業者が採算を取れずに廃止した路線を、潟上市が潟上市民の交通手段を確保するために運行しております。限られた予算の中で将来にわたり持続可能な公共交通とするため、費用を抑えつつ利便性を向上させる必要があります。目まぐるしく進化を続けるICTやIoTの技術の活用も視野に、より利便性が良く地域に即した公共交通にする必要があると考えております。

この度は貴重な御意見をいただきありがとうございました。いただいた御意見につきましては、今後の交通政策の参考とさせていただきます。

No.	10	提出月日	3月3日
-----	----	------	------

内容

潟上市にあるすべての体育施設の予約状況をネット上で見れるようにしていただきたい。また予約もネット上で行えるようにしてもらいたい。(一部施設はできるようですが。)

利用料金もわかりやすく情報公開していただきたい。現状は非常にわかりづらいです。

市からの回答

今回は、市体育施設について、一括してHP上で空き状況、料金等を確認できる環境を整備すれば、ご利用の皆様により便利になるという旨の、大変貴重なご提言をいただきました。

現在、市体育施設は、市直営の体育施設と、民間業者市指定管理の都市公園施設の2種類があり、民間運営の都市公園施設はインターネットにより予約状況確認と予約ができます。

今後は、市直営施設についてもこうした施設同様にご利用いただくための、ネットワーク環境の整備等における貴重なご意見として頂戴し、検討してまいります。

整備できるまでの間は、市直営体育施設については、現状どおり、施設及び当班へ電話連絡または直接おいでいただきご確認していただくこととなりますので、ご理解のほどよろしく願いいたします。

なお、利用料金については、来所者により分かりやすい形での周知を検討させていただきます。

この度は、本当に貴重なご提言をいただき、改めて感謝を申し上げます。今後とも、お気づきのことは何なりとお寄せいただき、スポーツ振興に努めてまいりますので、よろしく願いいたします。